

# PanaCIM-EE Gen2

## 材料照合

# 材料照合にまつわるお困り事

部品を設備にセットする際の照合工数が大きい  
人による読み合わせ照合では誤実装リスクがある

## 生産前の材料照合時



実装機



フィーダー台車



部品名読み合わせ



フィーダー リール部品

部品配列表

部品配列表を確認しており  
工数がかかる

間違った部品をセットして  
誤実装を起こす可能性あり

# PanaCIM 材料照合の特長

フィーダーメモリーへ部品情報を書き込むことで、  
部品掛け間違いを防止しつつ、バーコード読み工数削減可能

< 他社の材料照合 (例) >

① リール部品のバーコードを読み取り



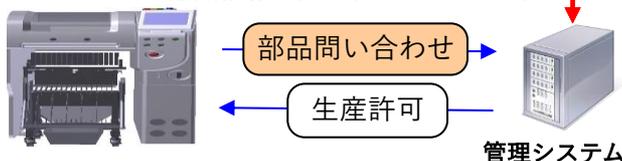
② フィーダーシリアルNo.のバーコードを読み取り



③ マシンスロットバーコードを読み取り  
(又はマシンがフィーダーシリアルNo.を読み取り)



④ 実装機がシステムに部品情報を問い合わせして生産許可



3点照合

< PanaCIM 材料照合 >

① リール部品のバーコードを読み取り



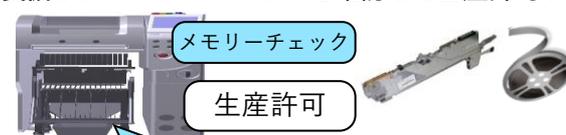
② フィーダーの照合完了ボタンを押下すると、  
フィーダーメモリーに直接、部品情報が書き込まれる



フィーダーメモリー	
部品名	: P-A
数量	: 5000
ロット	: LOT-1
ベンダー	: 999

PanaCIM

③ 実装機がフィーダーメモリーを確認して生産許可する



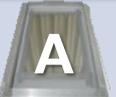
実装機が直接  
部品情報を確認

1点照合

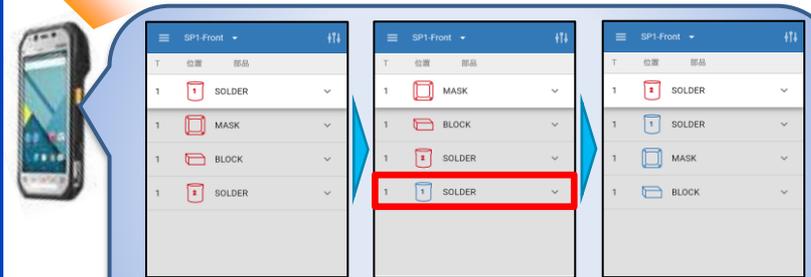
# 印刷機用の材料照合時

## 印刷工程の品質維持も実現可能

印刷品質維持には、材料の組み合わせ管理が必要だが、多数あり人手では困難

製品	はんだ	マスク	スキージ	下受けブロック
 A	 A	 A	 C	 B
 B	 B	 C	 B	 C
 C	 B	 A	 A	 C

画面にて指示された必要材料のバーコードを読み取ることで照合可能



照合完了した材料はアイコンの色が赤から青に変化  
全ての照合が完了すると印刷開始できる仕組み

# 機能一覧

番号	機能	内容
1	部品照合	実装機に部品をセットする際、リール部品、トレイ部品、印刷機材料(はんだ・マスク・スキージ等)、代替部品(別途登録)を照合
2	外段取り照合	実装機に接続されていない交換台車上で部品照合可能
3	新旧リール比較	部品切れ照合またはスプライシング照合を行う際に、現在使用中の部品リールと新たに供給する部品リールのリールバーコードの部品名が一致する場合のみ、照合を許可する
4	誤生産防止	誤部品、無効部品があった場合や、未照合の場合、設備インターロック
5	定期チェック照合	照合タイミングを設定し、定期的に再照合指示を出す(部品間違い防止)
6	レポート表示	照合作業の履歴レポート表示
7	作業記録	照合作業時に作業者IDを読み込むことで各作業毎に作業者IDを記録

The image features a dark blue background with a grid of lighter blue squares and a large, semi-transparent blue circle on the left side. The text "Panasonic" is in white, and "CONNECT" is in a bright blue color. The "C" in "CONNECT" is stylized with a circular cutout.

**Panasonic**  
**CONNECT**